

東濃信金、22年に創業100周年

本店、土岐支店建て替え

東濃信用金庫(市原好二理事長)は17日、創業100周年を迎える2022年1月に合わせて建て替える多治見市本町の本店の概要を発表した。土岐市泉町久尻の土岐市駅前支店も建て替えて土岐中央支店と改称し、同金庫初のカフェ併設店舗とする計画も明らかにした。

本店は建物の老朽化に伴い、JR多治見駅南の現在の本店敷地内の駐車場に新築する。鉄骨9階建て、免震構造で延べ床面積は6015平方メートル。1階は本店営業部、2階は大ホール、3階は応接室、4階以上は執務室とし、セキュリティや事業継続計画(BCP)対策を強化する。

今月着工し、来年11月に完成。22年1月から新本店で営業を開始する。現在の本店ビルの取り壊しが完了する22年秋のグランドオープンを目指す。



東濃信用金庫本店の完成予想図

土岐中央支店は現在の支店南側の駐車場に新設。鉄骨2階建てで、今月着工し、来年4月の完成を目指す。



土岐中央支店の完成予想図

カフェはコメダ珈琲店が入る予定で、にぎわいを創出する。